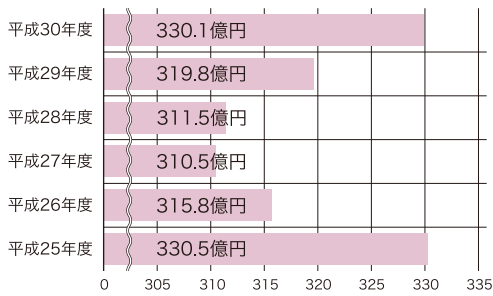


■ 平成30年度各会計予算

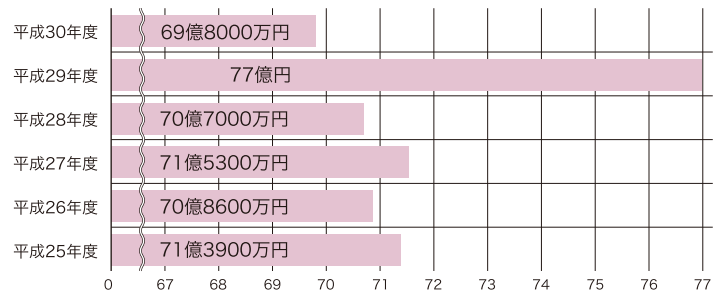
会 計 名	予 算 額	前年度との対比	
		増 減	比 率
一般会計	334億8000万円	△15億2000万円	△4.3%
特別会計	国民健康保険	△20億4800万円	△21.2%
	下水道	△6100万円	△3.0%
	農業集落排水事業	△160万円	△0.8%
	介護保険	2800万円	0.4%
	子育て支援券	△570万円	△3.6%
	後期高齢者医療	6050万円	9.6%
	須賀川財産区	8万円	10.0%
水道事業会計	24億800万円	9400万円	4.1%

■ 市債残高(借入金残高)の推移



市債の残高は、28年度までは決算額、29年度は見込み額、30年度は当初予算額です。

■ 地方交付税の推移



(注意) 平成29、30年度は当初予算額です。

市民1人当たりにはいくら使われているの？

市民の皆さんが納める税金(市民税、固定資産税、市たばこ税など)のうち、子育て環境や福祉の充実、教育環境や道路整備など、さまざまな事業に税金が使われています。また、使い道が限定されている目的税として都市計画税は都市計画事業などに、入湯税は観光振興などに使われます。

市民1人当たりの費用(一般会計ベース)

市民1人当たりの課税額
..... 144,467円※1
市民1人当たりの支出額
..... 466,419円

平成30年3月1日現在の住民基本台帳による人口71,781人で計算
※1 市税のみで計算。国税や県税などは含まない。

1人当たりの金額	お金の使い道
137,012円	高齢者や障害者福祉、子育て環境の充実、生活保護などのために(民生費)
89,118円	市役所の全般的な仕事や税金関係の仕事のほか、戸籍や選挙などのために(総務費)
53,627円	学校教育の充実、生涯学習施設やスポーツ施設の充実、文化財保護などのために(教育費)
52,007円	小中学校の校舎建設、道路改良、公共施設の建築などのために借りたお金(借金)の返済のために(公債費)
50,457円	道路や橋・河川・公園などの整備、まちづくりのために(土木費)
26,064円	皆さんの健康づくり、ごみ処理、し尿処理、リサイクル推進などのために(衛生費)
22,371円	農業や畜産業、林業などの振興のために(農林水産業費)
16,892円	消防団などの費用、消防ポンプ車の購入、耐震性防火水槽の設置、消火栓の設置など市民の皆さんの生命や身体、財産などを災害から守るために(消防費)
14,115円	商工業、観光の振興のために(商工費)
4,756円	議会の運営、労働対策、災害復旧費などのために(その他)